婦人と新社會

山田わか主筆

十月號

野蠻人とは秩序を知らぬ者

文明人とは秩序を知る者

現代生活の內容

獨逸を支配する最近の思想

男性美の標準

婦人禁賣と政府

—編輯の後—

每月一回一日發行　第六十七號　大正十四年十月一日發行

大正十四年九月廿三日印刷納本

東京[illegible]婦人と新社會發行所

UNIVERSITY OF MICHIGAN LIBRARIES
Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

野蠻人とは秩序を知らぬ者
文明人とは秩序を知る者

昔の野蠻人が此の地上に於ける自分自身の位置を考へたように、そして、今、科學者が立證するように、人間は決して此の宇宙の中心物ではなく、無數の被造物の一つに過ぎない。

他の被造物と人間との相違を强いて求むるならば人間は他の被造物よりも一層意識的で一層複雜であるに過ぎない。

人間の心持ちには全く無關心な地球の上に現れた人間は自然にとつては何處迄も一個の局外者である。

故に、人間は、徐々と苦鬪しつゝ無慈悲な自然に自分自身を適應させ、そして、自然を利用して行くより外に方法は無かつた。けれども、それはいつも冒險であつた。

自然と人間との關係をたとへて見るならば、自然は人間のためには無數の見世物である。けれども此の見世物は時によれば美しいが時によれば意地惡でわけが分らず、そして、恐しく、人間はちゞみ上がらされてしまう。

で、今日の人間は、たとへば、科學者の如きは冷靜に正直に自然を研究してゐるけれども、そして、今日の人間は文明を誇つてゐるけれども、併し、結局は、自然が人間に親しんで吳れないこと人間の望みがいつも自然に破壞されてゐることは今も昔も變りがない。

處で、唯、人間にのみ許されてゐる道が一つある。それは此の宇宙間に人間は自分の理想とする世界を建設し得ることである。

そして、これが哲學に於ける、藝術に於ける、及び生活に於ける人道主義である。

自分に對して全然無慈悲である自然界に秩序を發見し、其の秩序の上に向上の道を開くことが出來る。そして、ここに文明がある。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

現代生活の内容

一

生活破綻と云ふことが此の頃問題にされて居りますが、病氣と云ふことを思ふと其の對照として健康を考へると同じように、生活破綻と云ふことを思ふと同時に其の對照として確立された生活と云ふことを考へます。

そして、先づ、その確立された生活とは何にかと云ふと、食慾と愛慾と云ふ生れながらに持つてゐる二大本能なる慾望が滿ち足りた生活でありませう。

この二ツの慾望はありとあらゆる生物から人間に至る迄共通のものでありますが、併し、人間以下の動物に於てはそれが生理的の慾望として終つてゐるに反して人間に於てはそれ等の慾望を精神化すると云ふ差があります。動物のそれ等とは差こそありますが、併し、それ等の本能が動物の生活を支配してゐるように私共人間の生活をも支配してゐると云ふことは事實です。

で、生活破綻と云ふことは從來滿たされてゐた其等の二大慾望のうちのどちらか一ツが、又は、其の兩方が滿たされなくなつた時か、又は一度精神化したものが逆戻りするか、或ひは、又、精神化が足りないか、或ひは、又、精神化を妨げられてゐる場合を云ふのであるように考へられます。

そこで、先づ、食慾に就て云ふならば、未開

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

の時代とは異つて現代に於ては、食ふことが出來ないと云ふようなことは殆んど例外の場合であつて最少限度の食慾ならばいつでも、又誰でも滿たされる社會となつて居ます。不足を言ふのは食物が手に入らぬと云ふのではなく、現に得てゐるものよりももつといゝものが欲しいと云ふことなのです。男でも女でも普通に働いてゐてひもじい思ひをしなければならないと云ふことはない。唯、もつと仕事を僅かして、もつといゝものを食ひたいと云ふに過ぎないのです。

　より上等なものを食ひたいより美しいものを着たいと云ふ氣持ちは、これを正當に進めて行けば生活の精神化となり、進歩となり、文明となるのですが、正當に進められずに、單なる本能の滿足に供せられたならば、其の反對に動物的に逆もどりです。そして、歐洲大戰中のあの一時的の好景氣は其の餘裕を精神化する代りに墮落の傾向に導きました。

　私の友人に洋服裁縫に一生を捧げた人がありますが、彼は云つてゐます。「この頃の職人の墮落してゐることゝ云つたら實にお話にならない技術其のものには少しも興味を持たないで、唯樂に金を取ることばかり考へてゐる。職人の氣持ちがこうなつたに就ては學者に云はせればいろいろ難しい原因も擧げられるだらうが一職人としての自分の考へる處では歐洲大戰後の一時的の好景氣が非常に影響してゐる。一般に金があつたので洋服屋は隨分忙しく、技術がどうのこうの云つてゐる餘裕などはなく、針さへ持てればどんな人間にでも仕事はあつた。けれども此の頃のように不景氣になると腕のにぶい奴はどん／＼首になつてしまう。けれども、いよ／＼困つて來るとこんなことではいけないと云ふことに氣が付いて勉强するようになるから、自分はむしろ技術の向上のために却つて此の不景氣

に感謝してゐる。」と。
實際どんなに不景氣だ、仕事がないと云つても腕のすぐれてゐる人は、如何なる方面に於ても、失業するようなことはめつたにありません普通なら使ひたくないがまア此の際だからと云ふ條件つきで仕事を得てゐるような腕のにぶい人間はいざ不景氣と云ふと一番先きに失業者になるのは當然の成行です。

二

動物乃至未開の人間とは異つた現代人としてのレベルに相當する生活、云ひかへれば、物質的にも、精神的にも滿足的な生活を確立すると云ふことはなまやさしいことではないのですが併し、歐洲大戰中の好景氣に甘やかされ、一部の煽動屋におだてられてゐる今の青壯年は其のなまやさしいことでないと云ふ觀念を益々失つて享樂生活にふけつてゐた處があの大震大火で急に享樂の材料を失ひ、その上に、外債の影響を受けた結果、生活破綻者——現代人としてのレベルの生活が出來ない人は——至る處に續出しつゝあります。

男子の生活破綻者は、唯、破綻者として終るのでありますが、併し、婦人の場合に於ては、それが男子の場合とは異つて、もう、一歩深く墮落の淵に陥らされるようになつてゐます。

長い／＼間、全く他人によつて生きて來た婦人がいよ／＼自己に目ざめていざ自己の生活を確立しようとして雄々しく出立しても、さて、最初の企てを成功させた者は無數の女性のうちの極く少數であると云ふことは勿論意志の弱いことも原因でありますが、併し、其の意志を弱くさせるものが他にある。即ち、男子から求められてゐるものがあるからです。

人間の心が到底到達することの出來ない或る原則が自然界の、人間の心の、歴史の、又は、

個人並びに社會生活の裏面に活躍してゐると或る學者は云ひますが、それと同じく女性生活の背後にはいつでも、又、何處にでも、彼女を食ひ物にしようとする男性の性慾と云ふものが潜んでゐます。そして、その男性の性慾は蠅がひつかゝるのを待つ蜘蛛の巣のように至る處に張られてあるのです。

　そして、生活の嚴肅なる所以を知らぬ不眞面目な婦人が落ち行く先きはいつもその蜘蛛の巣です。

　男子は「職業か餓死か」であるに反して婦人は「職業か寄生蟲か」であるとシュライネルは喝破して男子の性慾の道具となつてゐる無人格な婦人の生活に一大痛棒を加へ、そして、現今に於ては無數の婦人が其の屈辱な寄生蟲の位置を脱して一人格者としての生活を確立するつもりで職業に附いたのでありますが、併し、生活の確立はなまやさしいことではないと云ふことに就ての充分なる覺悟がなく、唯、生活の確立と云ふことを口實として、實は、家庭に束縛されてゐるよりも、外に出た方がより自由であり、より華やかであるだらうと云ふ氣持ちが職業を求むる婦人達の心に有識無識のうちに働いてゐるし又、雇主の方でも婦人の能力を認め、婦人を尊敬して雇ふのではなく、男子よりは第一に月給が安く使へるし、第二には心ある者は口へ出すのも憚られるような考へを持つて職業婦人を遇してゐるのです。

　その證據には大部分の雇主が出來るだけ若い婦人を要求してゐます。先日も或る事務所で婦人タイピストを募集しました。そして二十五歳になる婦人が應募して行きましたが、「もつと年の若いのが欲しいのだ」と云はれ不合格を宣せられたのですが、何の必要があつてそんなに若いのが欲しいのか？　その理由は火を見るよりも明らかです。

ついでに云つて置かうと思ひますが、事務員乃至タイピストは出來るだけ若いのをと云ふ雇主の要求は日本人も西洋人も（勿論全部とは申しませんが）同じであつて、そして、事務所の仕事以外の關係がいつの間にか成立し、私生兒を抱へてゐるものを中には混血兒を抱へてゐる職業婦人をボツ／＼見るようになりました。（このことは一度一寸本誌に書いたことがありますが）

混血兒を抱へてゐても其の兒の父なる人と法律上はとにかく事實に於てゞも結婚をしてゐるのならまだしも、多くの場合、その男は子供と子供の母とを置き去りにして本國へ歸つてしまつてゐます。さう云ふ境遇にある婦人に付て、「その子の父は養育費の一部分でも送つて來ますか」と私は尋ねました。

「送金どころか、居處さへも分りません」

「それでは彼女はなぐさみものにされたことをさぞ憤慨してゐるでせうね」

「いゝえ、いゝえ、自分よりは優秀人種と思ふ男とかりそめのちぎりでも結んだことをむしろ誇つてゐますよ」と云ふのが答へでした。

何と云ふ屈辱、何と云ふ悲慘であるでせう。私生兒、しかも、混血兒を抱へての彼女の職業生活は實に見るも痛ましいものであります。併し當人の氣持ちは他人が見るのとは全く異つてゐるようではありますが、とにかく、職業に志す婦人は自己の生活を確立しようとして出立して、しかも。その大部分は生活の大破綻に陷つてゐると云ふのが事實です。

三

私は、一度、職業婦人として成功する程の者は家庭婦人としても成功する、けれども、家庭婦人としてグータラな者は職業婦人となつてもあまり役に立たないと云つたことがありますが

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

要するに、それはそれ〴〵の人の人生觀の問題つまり、其の位置は何であれ、生活に對する態度がそれ〴〵の人の價値を定むるからです。勿論、複雜な家庭の仕事に適する人、又、單調な職業上の仕事に適する人との差はありますが、併し、その差は絕對のものではなく、生活に對する眞面目な態度さへ持つてゐるならば、必要と考へるなら如何なる能力でも必ず努力の結果習得することが出來ます。

　けれども、その努力を厭ふと云ふのが現代青年男女を風靡してゐる惡風潮です。家庭生活に就ても、唯、男と女が一緒になつて家を持ちさへすれば、それで幸福な家庭が出來上るように安價に考へてゐる處に家庭生活破綻の多くの原因が潜んでゐます。幸福な家庭は無代價では買へない。つまり、努力無しには價値ある幸福な家庭は出來上がらないのです。

　實に、僅か二三日を樂しむ一鉢の草花でもそれを立派に咲かせようとすれば可なりの努力を要します。短いと云へば短いが、併し、事實に於て可なりに長い一生涯の幸福を購ふのに努力が不必要と云ふわけがありません。

　異つた境遇に生を受け、別々な經歷を持つた男と女の二人が一緒になつて、そして、一緒になつた當分の間こそ、幻惑のうちに過しても其の幻惑の霧がはるゝと同時に、趣味の相違や、思想又は愛の深淺やを發見するでせう。けれども、その相違を發見する度每に別れ話を持ち出してゐたのでは、健固な夫婦が出來上る餘地がありません。植木を植ゑかへて「もう根がついたかしらん」と云つては拔いて見て居たのでは根が付く處ではなく、ツイには枯れてしまうでせう。

　昔の婦人は絕對に男子に服從して夫の幸福と云ふ處に生活の目標を置いて、趣味に於ても思想に於ても夫に同化するようにつとめ、夫の要

求を滿すことを自己の生活の全部として居たゝめに平和な滿足的な生活を送つてゐたのに反して、自己に目ざめつゝある現代の新婦人は自己の慾求が相手に容れられることを要求します。彼女等は昔の婦人達が夫の歡心を買ふために用ゐた虚僞を卑しめます。そして、これは皆正當なことであるに相違ありませんが、併し、彼女等の理知はまだ彼女等の感情を正當に導く處迄發達して居りません。

で、此の頃、ヒン〳〵として起る家庭破壞はなま半可な婦人の理知及び感情が大いに原因となつてゐます。同時に他の一方には目覺めつゝある婦人の感情を無視し、又は、人間生活に絶對に必要な家庭に對する男子の無關心と云ふものが大いに與つて力あると觀測されます。かう云ふ不完全な男女が其の不完全と云ふ處を意識せず、努力して補ひ合はうとせず、お互ひになま半可な自己を主張するならば家庭破壞は當然の結果です。

ですから、婦人はもう一歩進んで女性としての感覺及び理知の向上を計らなければならず、同時に、男子達は、ヒン〳〵として起る家庭破壞をたゞ見て過ごさずに、又は、婦人側の不貞とのみ考へずに、彼等に對する時代の警鐘として見なければならないと思ひます。

四

努力無しには價値あるものは得られないと云ふことは凡ての方面に於て事實であつて、殊に戀愛の高尚化には肉慾の自制が必要であることをエレンケーは力說してゐます。

戀愛本能の向上は、歷史的に見ても人種學的見地から見ても自制によつて發達せしめられてゐると云ひ。肉慾の自制は戀愛の感情を益々深く發達せしむる。精神的渴望の目醒めない前に肉慾的渴望を充す習慣を獲得することが感情を

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

弛緩せしめ、薄弱ならしめ、感覺を粗笨ならしむる。故に性的關係を早期に始める國は道德が放慢であり、そして、道德が放慢なる處には戀愛の情緒が重んぜられないと云ふのです。

動物の食慾及び愛慾は生理的の慾望として終るに反して人間に於ては其れが精神化すると此の文の始めに申しましたが、ケー女史の言葉をかりて云へば肉慾的渇望が進化して精神的渇望となり、そして、この愛慾の精神化から貞操は生れたものと見ることが出來ます。

女性は長い間奴隷道德を强要されてゐたと云ふのは事實ですが、併し、結果から見ると、そのために愛慾の自制を餘儀なからしめ、その精神化に大いに資する處がありました。これに反して、抑制を强要されなかつた男子は今日に於ても猶一般から云ふと、性慾道德の觀念が薄く粗笨な感覺の持主で肉慾的渇望のために精神的渇望を犧牲としてゐます。

世間には往々男性の强烈な性慾を肯定しようとする人々がありますが、併し、或る社會學者に云はせると、「動物生活に於ける性慾の衝動は本能的で其の遂行は自然的であるに反して、人間は彼の腦中に性交上の想像力を發達させ、强烈になつた」とあります。

經濟を偏重し、男性模倣をことゝする一部の婦人達が性道德をも男性の水準に抵下させつゝあることは事實ですが、併し、一般から云ふと此の方面に於ては男性よりも女性の方が確かに一歩高く向上して居ります。ですから、今日の女性の役目は、先代女性からの精神的遺產なる貞操觀念を減損することなく、純粹に保持すると同時に、男性に自制を命令し、女性と同じ貞操觀念の持主に迄引き上げ、男女同一なる性慾道德の確立に努力すべきです。

五

一家庭には一家庭の精神が無ければなりません。そして、その精神のしるしは家庭の秩序であり、その精神の主宰者は夫婦です。けれども夫婦が不公平であつたり、元始的な野卑な情慾に狂つたり、束縛があつたり、愛を外へ分割したりする處には家庭精神はありません。

そして、この家庭精神なるものは過去の家庭を記憶する處から生れて來ます。人には如何にも賢愚の差があるように思へますが、事實に於ては殆ど皆同じです。唯、記憶が強いか強くないかと云ふ處に差が現れるだけです。

過去の婦人が今日迄人類を支へて來た其の貢獻は莫大であるにも拘らず如何にも不利な位置に置かれてゐたと云ふことを記憶するならば、今日の婦人の精神は奮ひ立たずには居られません。過去の婦人が嘗めさせられた苦痛を記憶することによつて自覺も促されるし、家庭の精神の確立にも努力せずには居られなくなるし、一致共同の必要も感じ、未曾有に強くもなるのです。

そして、この強い力が家庭の精神を保護し、生活破綻を防ぎ、かくして、浮き足になつた現代人の精神を復活させることが出來るのです。

それに反して、過去の婦人の苦しい位置を記憶しない婦人は死んだ人間と同じです。

◇母と云ふ言葉のうちには國民的及び國際的教育組織の全部が含まれてゐる。母として婦人を教育せよ。しからば彼女は如何にして次代を教育すべきかを知る。

◇力を得て自由を失ふとはおかしい。人を支配することが出來て自分を支配することが出來ないとはおかしい。

（或る日の讀書から）

獨逸を支配する最近の思想

雜誌「婦人運動」に次の一節が載つてゐた。「山田わか氏の婦人と新社會九月號を覗いて見ると、ブルジョアとプロレタリアとは異つた種類の人間か？　と云ふ迷文が載つてゐる。そして、一八九五年に書いた手紙と添書してあるが、今でもこんな間の抜けた考へを持つてゐるのかしら。ブルのホウカンは違つたもの。」

こう云ふものゝ云ひ方をする人を相手にすることは好ましくはないが、併し、年代によつて思想の新舊を斷ずる淺薄さ、無知の結果の思ひ上がつた新らしがりぶりが何とも氣の毒であるから、一八九五年に書かれたエンゲルの手紙に現れた思想と今優勢になつてゐる思想との間にどんな關係があるかを聊か書いて見せて上げることにする。

今日、獨逸の思想界を風靡してゐるものは先づ經濟學者のゾンバルトと法學者のシユタムラーの學説であると云はれてゐる。シユタムラーは實行的法律家であると同時に純理論者である。そして、彼は實際政治にはたづさはらないけれども、併し彼の學説は最近の、獨逸の政治に最も深い勢力を持つてゐる。

現に、獨逸の社會民主黨の理論家ベルンスタイン、コンラッド・シユミット、ルドウイック・ボルトマン等の如きはシユタムラーの學説の影響の下に「キヤントに歸へれ」の運動に率先してゐる。そして、革命的社會黨から平和な社會改良黨に除々と變りつゝある。

この黨派の進歩的な勢力ある黨員は、共産主義的に組織されたユートピヤを捨てゝ、そして、社會正義の抽象的理想を彼等の目的としてかゝげた。そして、この社會正義と云ふ標語を理想として、今、前進しづゝある。が、これは皆シユタムラーの學説が原動力となつてゐるのである。で、此處に、シユタムラーの學説を要約すれば、

「社會の必要は、全部、唯物主義的經濟的のものであ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

且つ、善惡の觀念、美的及び宗教的觀念は所謂物質上、即ち、經濟の基礎と生產の條件に必ず原因すると云ふ假説は何等の理由のない、從つて、證據のない勝手な假説である。單なる因果關係は社會生活の法則としては全く無力である。」

と云ふのである。そして、この結論は前にも云つた一八九五年にエンゲルが一般社會主義者の誤解を摘發して書いた手紙とす分違はないことをもう一度此處に云つて置かう。

婦人禁賣と政府

放蕩な亭主は、自分は行きたくないがつきあひで止むを得ないと女房にいふ。處で、世間が「女遊びはよくないから、せめて、制限を置いて遊ばう」といひ出したら、もう、女房へのいひつくろひや恥や外聞を忘れて「止むを得ない事情」一點ばりで、その事情の說明もせずに、依然と遊びを續けようとする。といふのが人身賣買に關する國際條約に對する日本政府の態度です。

　淫蕩病は今の政府者及び一部の國民の骨がらみとなつてゐます。淫蕩といふ點に付いては、世界のどの國にも劣らない一等國でありますが、併し國民の全部がこの病氣にかかつてゐるわけではない。性慾の濫用は罪惡だと考へてゐる人も少くないとは思ひますが、併し、さういふ正しい人は眞面目な生活者であるから、他人の力を借りる必要を感じてゐない。云ひ直せば、團體を造る必要を感じてゐないのです。これに反して他人を陷れてうまい汁を吹はうとする人間共に限つて同類の力を賴みとし、强固な團體を造り、その力で押して行かうとする。そして、その力に政府が氣がれしたのが、今度の國際條約に對する除外例の要求でありませう。

　この一事を以て見ても私達は自分さへ正しければと

世間と没交渉で生活してゐることは出來ません。不正な團體の力に對する正義の團體の力、殊に、性慾の餓鬼、金の餓鬼に對する女性の團結の力が必要です。

一昨年の大震大火は國民の心身に一大ショックでありましたが公娼廢止の斷行はそれよりも猶大きなショックを全國民に與へるでせう。その斷行を一日も早くするために私達は努力を惜んではならない。骨がらみになつてゐる淫蕩病を除去するために公娼廢止といふ爆彈を糜爛してゐる彼等の頭に投げつけなければならない。

男性美の標準

シルレルは人間發達の過程を三時代に分けてゐます。力の時代、美的時代、道德的時代と。第一は腕力萬能の時代でありますから、肉體の剛健、又は武勇と云ふやうなものが讃美される時代に相當するのだと思ひます。そして、これは、より多く動物的であり暗き運命に人間が支配されゐ時代であり、現代人の氣持ちとは遙かに隔りがあるものです。

で、今は美的時代と云つてもよいのだらうと思ひます。この美的時代と云ふのは、前の時代の動物的乃至肉體的力の支配から脱出した時、そしてこれから道德的時代に進んで行かうとする時を云ふのです。歴史に徵して見ても、哲學や科學が現れる前に詩や美術が存在してゐて、そして、「美は眞理の世界に入る門口だ」とか、又は、「獸類でもない、と云つて、神でもない人間のみが藝術を持つてゐる」とか云はれてゐます。

この美的時代に到達して、さて、これから道德的時代に進み行かうとするのが進化の過程であると云ふのでありますが、併し、此頃の多くの人達が認めて居られるやうに、現代の靑年男子は道德的に強くなる代りに益々優柔怯懦に墮ちつゝあるやうです。そしてこれは、美的時代に到達して、過去の動物的蠻風を捨てるには捨てたが、さてこれからの進路はと、云ふとり、

それが見えないからでありませう。

つまり、現代は腕力の支配からは免れた（とは云つても、事實に於ては腕力沙汰は絶えませんが、併し、時代精神は確かに其れを否定してゐます）。そして、今迄私共を支配してゐた其の力（この力のうちには腕力ばかりでなく、物質の力も、人間の本能の力も含めます。）をこれからは私共が支配して道徳的に有益に使用しなければならないが、併し此の道徳的勇氣にとぼしい青年が厭ふべき優柔怯懦なる人間となるのです。

編輯の後

炎熱苦熱の去つた今頃の氣候は何と云ふ心持らの快いことでせう。秋は淋しいと多くの人に歌はれて居りますが、そして、それは嘘ではありませんが併し私はさう思ひたくありません。「ああ淋し」なんて歌ふのは敗頽的な人間、未來のない人間であるように私には思へて仕方がありません。私には、いろ〳〵の果實や穀物がゆたかに實るように私共の心身もカッチリと充實し、はちきれそうになつて大いに創造的の仕事にいそ

男性美の標準は全然異つてしまひました。蠻勇は現代の女性の目には滑稽であると同時に女性化した男性は猶更唾棄すべきです。

それに反して、道徳的理由のために凡ての力を利用する、自己の本能の力をも立派に征服し得る男子こそ本當に道徳的勇者であつて、新時代の凡ての女性から禮讃される男性美を發揮した人であると私は思ひます。

しむべき時だと云ふような氣持ちが致します。

と申ますと、緊張したさわやかな心身を持つて私が大いに仕事に勵むであらうと皆樣が思し召しませうが實際今迄は毎年さうで御座いましたが、今年は少し怠けさせて頂きます。實は來月早々有島夫人に伴はれて別府温泉へゆかうとして居ります。そして、これは、私が生れてから始めての大保養で御座います。

實は昨年あたりから足に何にか故障が出來まして道

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

な歩いてゐても不圖すくんでしまふことがありました。それがだん〳〵かうじて來て今年の六月頃から左の膝が痛み二階へ上がる階段へ其の足をかけたのでは五分も體が上がらないようになりました。

けれども、私は少しも悲觀しませんでした。「達磨はあんまり長い間座つたぎりで居たゝめに足が腐つてしまつたと俗に云はれてゐるが私も机に向つて座り始めてから十年になるから足もだめになつたんだらう」などゝ自分を達磨に比較することはおこがましいですが、そんな風にむしろ名譽であるように考へまして、そして、今後も足なんか無くつたつて自分の仕事のためには何にも不都合は無いなどゝ考へて居ました。

處が、家人は私と同じ心持ちではありませんでした。「だんだん惡くなつて動けなくなつては困る」と云はれて見れば其れもさうです。仕事をするに不都合はなくても家のうちでの自分用も足りないようになつてはうち中の人達が大變迷惑します。

それで、直るものなら直そうと云ふ氣持ちになり、直すには温泉が一番いゝと醫者も周圍の人も申して居る處へ御親切な有島夫人が御誘ひ下さいましたので御同伴することに致しました私は二週間も居たならと思ひますが夫人は三週間位ひ居なくてはと仰有います。が、それは行つての上での様子であらうと思ひます。ですから、十一月號はあちらで書くことになりますが、何にか皆様へのおみやげになるような興味ある記事が出來ればよいがと希つて居ります。では、皆様、行つて參ります。御きげんよう。

本誌臨時定價表

一册	金十錢	送料五厘
六册	前金五十五錢	（送料共）
十二册	前金壹圓	（送料共）

雜誌代及郵税は前金の事 御送金の際は振替貯金東京五三六八八番に御拂込みのこと 郵券代用には五厘切手にて一割増 廣告は御照會次第御相談いたします

大正十四年九月廿三日印刷納本
大正十四年十月一日發行

東京市四谷區南伊賀町四一
編輯兼發行人　山田嘉吉
東京市牛込區山吹町一八九
印刷人　大杉直次郎
東京市四谷區南伊賀町四一
發行所　婦人と新社會
振替東京五三六八八番